



各 位

2026 年 10 月 15 日

株式会社イオンファンタジー

代表取締役社長 藤原 徳也

(コード番号 4343 東証プライム市場)

2027 年 2 月期 9 月度の売上概況

1. 国内業績

2027 年 2 月期 9 月度業績

国内：売上高 72 億 49 百万円、前年同期比 126.1%、既存店前年同期比 118.2%(曜日調整後 113.3%)

2. セグメント別概況

1) 国内

①2027 年 2 月期 売上高前年比・店舗数の状況(※速報値)

(単位：%、店舗)

区分	9 月度		当期累計 (3 月度～9 月度)		当期累計 店舗数		
	売上高 前年比	売上高 既存比	売上高 前年比	売上高 既存比	出店	閉店	全店
アミューズメント事業計	124.6	118.4	113.2	108.0	38	32	747
総合店	114.5	117.6	104.9	106.9	4	11	404
専門店	189.3	124.2	167.1	115.7	34	21	343
ブレイグラウンド事業計	164.6	109.9	160.9	92.9	9	0	45
温浴事業計	153.1	101.0	146.7	108.6	1	0	3
その他事業計	117.3	112.6	90.5	95.0	0	0	9
国内計	126.1	118.2	114.6	107.6	48	32	804

※既存店売上高前年同期比に対する暦の影響は、平日が 1 日少なく、祝日が 1 日多かったことから、4.4P 増となります

※「キッズーナ鈴鹿店」は 9 月 1 日に「のびっごジャンボ鈴鹿店」へ業態転換いたしました

②2027 年 2 月期 売上高既存店前年比の状況

(単位：%)

区分	3 月度	4 月度	5 月度	6 月度	7 月度	8 月度	上半期計
曜日調整前	100.8	102.8	111.6	101.2	112.4	106.7	106.0
曜日調整後	105.4	104.1	102.3	106.5	110.7	110.1	106.7
曜日要因	△4.3	△1.2	+9.1	△5.0	+1.5	△3.1	△0.7
区分	9 月度	10 月度	11 月度	12 月度	1 月度	2 月度	合計
曜日調整前	118.2						107.6
曜日調整後	113.3						107.6
曜日要因	+4.4						+0.0

(参考情報) 昨年の売上高既存店前年比 (曜日調整後)

2025 年 3 月～2026 年 2 月

(単位：%)

区分	3 月度	4 月度	5 月度	6 月度	7 月度	8 月度	上半期計
既存店前年比	102.3	107.3	111.2	107.1	106.8	106.7	106.7
区分	9 月度	10 月度	11 月度	12 月度	1 月度	2 月度	合計
既存店前年比	103.0	106.0	102.1	108.3	107.7	97.8	105.5

2) 海外

①2027 年 2 月期 売上高既存店前年比の状況（※速報値）

（単位：％）

区分	3 月度	4 月度	5 月度	6 月度	7 月度	8 月度	上半期計
中国	108.2	110.6	90.4	76.3	72.5	85.5	87.2
マレーシア	119.5	75.1	111.0	97.4	96.1	105.0	99.9
タイ	96.5	96.8	102.0	91.6	99.6	82.3	94.6
フィリピン	99.4	88.6	98.1	87.3	89.5	92.9	92.7
インドネシア	149.4	66.0	104.5	99.1	99.1	110.3	101.3
ベトナム	104.9	92.0	109.4	108.3	103.1	107.2	104.5
海外計	114.0	82.9	103.6	92.7	91.0	97.5	96.5
区分	9 月度	10 月度	11 月度	12 月度	1 月度	2 月度	合計
中国	64.6						84.6
マレーシア	89.3						98.3
タイ	87.3						93.7
フィリピン	109.9						94.9
インドネシア	93.5						100.3
ベトナム	103.8						104.4
海外計	91.6						95.8

マレーシア：既存店売上高前年同期比に対する暦の影響は、祝日が3日少なかったことから、10.7P 減となります

（参考情報）2026 年 2 月期 月次売上高の既存比

（単位：％）

区分	3 月度	4 月度	5 月度	6 月度	7 月度	8 月度	上半期計
中国	80.7	74.9	91.1	98.5	103.1	96.1	91.5
マレーシア	90.9	116.6	89.3	94.4	92.2	95.4	96.3
タイ	93.3	88.1	92.5	88.2	99.8	110.5	95.3
フィリピン	108.6	117.6	109.0	77.0	84.1	113.9	100.1
インドネシア	83.0	96.5	85.4	82.3	82.7	84.9	86.9
ベトナム	99.0	87.5	122.0	93.6	102.1	97.5	98.2
海外計	83.7	99.6	95.2	89.8	93.8	99.2	94.8
区分	9 月度	10 月度	11 月度	12 月度	1 月度	2 月度	合計
中国	109.7	107.0	94.6	86.2	109.8	102.9	95.3
マレーシア	93.1	92.0	97.1	99.6	83.3	75.8	93.5
タイ	93.4	87.2	100.1	84.8	97.6	87.7	93.2
フィリピン	98.7	98.0	95.2	99.7	96.9	107.2	99.6
インドネシア	79.7	89.5	89.6	95.3	96.7	98.6	89.1
ベトナム	101.4	87.4	83.7	91.8	109.3	104.5	97.6
海外計	95.9	95.3	94.4	95.6	94.8	93.0	94.9

3. 今月のトピックス

【国内】

・国内事業好調要因：幅広い部門で売上高が伸長

9 月度は東日本太平洋側を中心に雨天日が多くなり、天候に左右されず楽しめる屋内型レジャーへの需要を取り込みました。好調トレンドであるプライズやカード・カプセルトイに加え、時間制遊具や人気機種を増台したメダルなど、幅広い部門で売上高が伸長し、国内事業全体の増収に寄与しました。

・プライズ部門：人気 IP と多彩な商品展開が売上高を牽引

9 月度も『ちいかわ』関連景品が引き続き好調に推移したほか、スクイーズ等のトレンド商材やサンリオとコラボしたシルバークウィーク関連の当社限定景品を展開しました。人気 IP と幅広い商品カテゴリーを組み合わせた展開により、他社との差別化を図るとともに、来店動機の創出と売上高の伸長に寄与しました。